

研究教育業績（過去5年間）

I. 研究業績

1. 主な発表論文

[総説]

1) 脇田紀子, 電子カルテの監査 退院時サマリーの監査と課題, 日本 POS 医療学会, **17(1)**, 42-45(2013).

2. 主な学会発表

[国際学会]

1) Yamakawa Y., Ohta S., Ohnishi J., Natsui J., Miyagawa S., Wakita N., Measurement system of quality indicators for assessing healthcare quality, 18th IFHIMA International Congress, October, Tokyo (2016).

[国内学会]

1) 大友美沙, 脇田紀子, 大山良治, 櫻田 誓, 「音」が患者に与える影響, 第43回日本診療情報管理学会学術大会, 9月, 札幌 (2017).

2) 野々村尚, 松崎雄介, 長村佳奈, 宮川雄樹, 依光澄玲, 渡辺靖也, 脇田紀子, 大山良治, 地域医療における介護予防について, 第42回日本診療情報管理学会学術大会, 10月, 東京 (2016).

3) 振角知広, 矢野愉子, 西田龍平, 西塚友里絵, 大山良治, 脇田紀子, 大泉 寛, 病院経営における診療情報管理士の役割についての考察, 第41回日本診療情報管理学会学術大会, 9月, 岡山 (2015).

4) 藤澤仁美, 石井拓也, 草野杏弥, 梶岡達郎, 田口祐輔, 晝間恵太, 満江康貴, 佐脇真理, 脇田紀子, 地域医療と介護の連携の今後と診療情報管理士の役割, 第41回日本診療情報管理学会学術大会, 9月, 岡山 (2015).

5) 大田祥子, 酒井未知, 宮川祥子, 脇田紀子: プレホスピタル情報, 第4回全国 ID-Link 研究会, 1月, 尾道市 (2015).

6) 近藤誠人, 安蒜 咲, 嶋崎祐己, 洪 峻翰, 羽鳥有貴, 斎藤由貴子, 松本ちひろ, 大山良治, 脇田紀子, 携帯電話の使用可能から見えてくる未来の展望, 第40回日本診療情報管理学会学術大会, 9月, 盛岡 (2014).

7) 渡邊 直, 嶋田 元, 岡田 定, 脇田紀子, 押見香代子, 退院サマリー評点化の試み その意義を問う, 第33回医療情報学連合大会, 11月, 神戸 (2013).

8) 押見香代子, 阿部香代, 樋口茂恵子, 脇田紀子, 嶋田 元, 退院後7日以内サマリー作成率の向上, 第40回日本診療情報管理学会学術大会, 9月, つくば (2013).

3. その他特筆すべき研究業績

II. 教育業績

1. 担当授業科目

2017年度 診療情報管理論基礎(2年)、診療情報管理論(2年)、医療情報演習 I (2年)、
医療情報演習 II (3年)、診療情報管実習 I (3年)18コマ、診療情報管理実習 II (3年)16コマ、
卒業研究(4年)、医療ビジネス薬科学概論(1年)1コマ

- 2016年度 国際疾病分類概論(2年)、診療情報管理論(2年)、医療情報演習Ⅱ(3年)、
診療情報管実習Ⅰ(3年)18コマ、診療情報管理実習Ⅱ(3年)16コマ、卒業研究(4年)、
医療ビジネス薬科学概論(1年)1コマ
- 2015年度 国際疾病分類概論(2年)、診療情報管理論(2年)、医療情報演習Ⅱ(3年)、
診療情報管士試験対策(3年)18コマ、診療情報管理士試験対策(3年)16コマ、
卒業研究(4年)、医療ビジネス薬科学概論(1年)1コマ
- 2014年度 国際疾病分類概論(2年)、診療情報管理論(2年)、医療情報演習Ⅱ(3年)、
診療情報管士試験対策(3年)18コマ、診療情報管理士試験対策(3年)16コマ、
卒業研究(4年)、医療ビジネス薬科学概論(1年)1コマ
- 2013年度 国際疾病分類概論(2年)、診療情報管理論(2年)、医療情報演習Ⅱ(3年)、
診療情報管士試験対策(3年)18コマ、診療情報管理士試験対策(3年)16コマ、
医療ビジネス薬科学概論(1年)1コマ

2. その他特筆すべき教育業績

- 2017年度 日本病院会コーディング勉強会 分類法講師
- 2016年度 日本病院会コーディング勉強会 分類法講師
- 2015年度 日本病院会コーディング勉強会 分類法講師
- 2014年度 日本病院会コーディング勉強会 分類法講師
- 2013年度 日本病院会コーディング勉強会 分類法講師